

# コース1 つくばさん みとかいらくえん 筑波山と水戸偕楽園

リーダー CL N/S SL M/N  
 実施日 平成29年3月12日(日)、13日(月)  
 天候 12日 晴れ 13日 曇り、みぞれ  
 グレード B  
 参加者 20人(男性 3 女性 17)  
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
12日秋葉区役所前		5:30	夜明け前に出発。磐越道、常磐道経由
弘道館と偕楽園	9:50	14:30	齊昭公の先見の明に敬服
湯泉荘	15:30	7:10	夕食は楽しい談話の宴席となる
13日筑波参道口	8:35	8:43	筑波神社に参拝をしてから登山開始
男女川水源	10:18	10:18	水源を過ぎると杉根と丸太階段の急登
御幸ヶ原	10:50	11:03	肌寒く、みぞれとなり、道は滑りやすい
男体山山頂 870m	11:19	12:10	御幸ヶ原の土産屋で昼食、暖を取る
女体山山頂 877m	12:40	12:50	視界は霞ヶ浦も見えず残念
つつじヶ丘P	14:30	15:00	下山時は奇岩に出会い、班毎に記念撮影
秋葉区役所前	20:00		解散

## 山行等概要(幹事のコメント)

- K/Tさんの大役を無難にでき、皆さんの協力に感謝いたします。
- 弘道館と偕楽園は世界遺産に登録を目指しているとのこと。
- 先人、齊昭公の卓越

した考えに感服でした。黒船が来航している時代に文武両道を目指し、日本を守る若者を育成する弘道館の創設。質素と実用性のある梅を愛した。また80年経った梅の樹は幹がよじれる。自分と照らし合わせてみた。



2017.3.13. 筑波山・女体山山頂877m

- 千波湖を池に見立てた偕楽園の庭園と好文亭は、心身を休める陽の世界を見学した。
- 筑波山は筑波神社から御幸ヶ原までの標高差 249m。深山で急登と階段の連続。
- 御幸ヶ原の稜線に着くと天候が霰で肌寒い、汗ばんだ身体にウエアを着込み男体山往復。
- 女体山からの下山道は滑りやすい露岩の連続で慎重に下る。奇岩が多く、楽しめた。

## 「筑波山と水戸偕楽園」に参加して

(11)N/N

私は3月の山行は初めてです。寒いのかな、山頂は雪かな、前日まで頭の中はいっぱい。  
(お天道さま) 2日間、雨をしっかりと抱っこしてね。

5時35分西口を出発、バスの中は和やかな雰囲気、心がほっとする。磐梯山SAは雪の山、寒いけど晴天なり。順調にバスは進み、重要文化財「弘道館」に到着。ボランティアガイドの方と建物の中へ、短い時間でしたが第9代藩



2017.3.12.偕楽園・好文亭

主の徳川齊昭公の事、高い教育水準、梅の苗木を軍用の非常食とするために家臣に配ったとの事です。それで、水戸は梅の木が多いのですね。いろいろ説明を受けましたが私の頭では



大仏岩 2班のみなさん

右から左、左から右への状態でした。思いがけなく歴史の勉強。6年前の震災で建物は被害にあい所々屋根、壁など修復した箇所が見えましたが、正間はびくともしなかったそうです。それから少し離れた偕楽園に移動。早春の梅の花が満開。梅まつりで人出は多く、小さな子供さんの可愛い姿。私達も梅林をゆっくり散歩。孟宗竹林と大杉林を通って竹の子いっぱい出るのかな、食いしん坊の私でした。吐玉泉は大理石をくり抜いた井筒の中から湧き出る水、眼病に効くと云われ手に水をつけてそっと目に触りました。好文亭の三階からの眺めは素晴らしく、千波湖がとても綺麗でした。弘道館、好文亭の入場は70歳以上無料で齢を取っても良いこともあるのね。少し早めに宿泊先の温泉荘へ到着。山行の準備。夕食の和やかさが心に残る。明日に備えて21時にお休みなさい。



北斗岩 3班のみなさん

暖をとれた一時でした。

雨も止み、女体山へ出発。山道は少し滑りそうです。女体山は奇岩々々が多いと話には聞いていましたが、セキレイ石、ガマ石の大きさにビックリ！私のカメラでは入りません。出船入船には、ちょっと恋をしてしまいました。大仏岩と北斗岩。母の胎内くぐりでは皆さん笑顔で通り抜けました。でも、一人難儀の方がいたようです。弁慶七戻りは今にも大きな岩が落ちてきそう。上を見ながら通り、つつじが丘に無事到着。靴を履き替え、下山口を振り返ると大きなガマちゃんが私達を見下ろしていました。「また来てね」と言っているようでした。登ってきた山名のツクバはアイヌ語で「そびえ立つ頭」の意味だと分かりました。

リーダー、サブリーダーそして参加した皆さん、お世話になりました。ありがとうございます。

13日、5時起床、なんとなくすっきりしない空、心の中では両手を合わせて（お天道さま）午後2時頃までお願いします。

6時30分に朝食をしっかりと摂り、7時、筑波神社に向けて出発。神社では「無事に下山できますように」と参拝した。筑波山は男体山と女体山の双耳峰からなっています。まず男体山を目指して出発。足元を見ながら「気を付けて」と自分に言い聞かせる。後から来た中学生の足が速い。道を開け「お孫ちゃん頑張ってる」と声を掛けたら、可愛い笑顔が返ってきました。私も元気を貰う。御幸ヶ原に到着。少々休憩、いよいよ男体山です。私の夢にまで見た山です。頂上に立った。素晴らしい眺め。足の疲れも飛んでいく。御幸ヶ原に戻り昼食。少々雨が降ってきた。リーダーが売店の人に交渉して、店内で昼食を摂ることができました。感謝の気持ちで買物と



弁慶七戻り 1班の皆さん